

すので、そういうこともあるんではなからうかと、私は思っておりますが、会計監査という問題もやっぱり私は出てくるんじゃないかと思うんですよ。監査請求なんかを受けないとも限らないと、私は頭悪いからよくわかんないですけども、やはりむだ遣いということは、市民側からでも指摘される可能性はあると思うんです。

いろんな意味で、私は二十一世紀にマッチした教育の環境をつくり、やはり言われるように、今あの学校を出て、もう形は変わっていますけれども、学校を出て、あの学校のどこには理科の教室があって、音楽教室があって、渡り廊下はこういう渡り廊下でと、そういうことがわかるような人がいる間にやはり移転をして、きちっと整備をして、そして後世に残すべきではなからうかと、私はこのようなことを考えているわけです。

それから、福東地域の商業調査、このことをお答えしていただいたですかね。私もどうだったのかなと思うんですが、聞いていないと思うんですけども、その点について言っていたかったですかね。

○議長（村尾栄次君） 暫時休憩いたします。

午後四時十八分 休憩

午後四時二十分 開議

○議長（村尾栄次君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。要望をどうぞ。

○二十一番（東田正治君） わかりました。残念なんですけれども、やはり答弁漏れのないように、ひとつお願いしたいんですけれども。

これから、私はこの五万都市というよりか、このニューメディアの発達によって、これはもう少し人口基盤を大きくして、そして住民サービスをやるのが、本当の行政改革ではなからうかと、そういうふうな考え方を持っております。で、そういう考え方が、実はこの中には基盤としてはあるんです。そういう意味で、私はこれからの福生市のつくり方、まちづくりをぜひ考えていただきたいと思うんですね。

地下駐車場の問題、一小的地下駐車場も言いましたけれども、あれはやはり下の段から、やはり駐車場を掘って、駅のあたりまでやはりある程度の構想を持ったものをつくらなきゃいけないと思っています。それが、西多摩の玄関としての福生市の位置づけであろうと、私はそのように考えているわけです。だから、ただ学校の地下の五十メー

トルだか十メートル、知りませんけれども、やはり昔の古い考え方にとらわれずに、やはりまちづくりというものを、二十一世紀に向かって考えてくださいと、そういうことを訴えたいんです。要望をしまして、一般質問を終わります。

○議長（村尾栄次君） お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ、延会とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村尾栄次君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれをもって延会とすることに決定いたしました。

なお、次回の本会議は六月十三日午前十時から開きます。

本日はこれをもって延会いたします。

午後四時二十二分 延会

福総庶癸第八百五十三号

昭和六十三年六月三日

福生市長 石川 彌八郎 

福生市議会議長

村尾榮次殿

昭和六十三年第二回福生市議会定例会の招集について

昭和六十三年六月三日付け、福生市告示第三十七号（別紙参照）をもつて、昭和六十三年第二回福生市議会定例会を招集したので通知します。

写 福生市告示第三十七号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第一百一条第二項の規定に基づき、昭和六十三年第二回福生市議会定例会を次のとおり招集する。

昭和六十三年六月三日

福生市長 石 川 彌八郎 ㊟

一 期 日 昭和六十三年六月十日
二 場 所 福生市議会議場

写 福総庶発第八百五十四号

昭和六十三年六月三日

福生市長 石 川 彌八郎 印

福生市議会議長

村 尾 栄 次 殿

議案の送付について

昭和六十三年第二回福生市議会定例会に提案するため、次の議案を送付します。

一 議案第二十八号 下水道事業の事務の委託について

二 議案第二十九号 東京都市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び東京都市町村公平委員会共同設置規約の変更について

三 議案第三十号 東京都市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び東京都市町村職員退職手当組合の規約の変更について

四 議案第三十一号 昭和六十三年度福生市一般会計補正予算(第一号)

五 議案第三十二号 昭和六十三年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

- 六 議案第三十三号 昭和六十三年年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第二号)
- 七 議案第三十四号 福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について
- 八 議案第三十五号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 九 議案第三十六号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 十 議案第三十七号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 十一 議案第三十八号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 十二 議案第三十九号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 十三 議案第四十号 市道路線の認定について
- 十四 議案第四十一号 市道路線の廃止について
- 十五 報告第一号 専決処分の承認を求めることについて(福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)
- 十六 報告第二号 専決処分の承認を求めることについて(福生市都市計画税条例の一部を改正する条例)
- 十七 報告第三号 専決処分の承認を求めることについて(昭和六十三年年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号))

陳情書の取り下げ願いについて

昭和六十三年二月二十二日付で提出いたしました「ひまわり作業所」に対する補助金交付に関する陳情書」については、都合により取り下げいたしますので、よろしくお取り計らいくださるようお願い申し上げます。

昭和六十三年四月二十六日

陳情者

福生市熊川九五―三四七

精神障害者家族会

ひまわり作業所長

山崎正三 印

福生市議会議長

村尾栄次殿

陳情第六十三―七号

ひまわり共同作業所に対する補助金交付に関する陳情書

(陳情の趣旨)

議員諸氏におかれましては、住民の福祉向上のために日夜御努力なされておりますことを深く感謝申し上げます。

さて、私どもは福生・羽村・瑞穂地区に居住する精神障害者関係によつて福生市福生九一五に「ひまわり共同作業所」を開設し、よりよい運営のための努力を重ねているところでございます。六十三年度から東京都の補助金も交付されることになりましたが、しかし現実の事業運営は大変厳しい状況下にあります。

他市におきましても同施設に対して補助金が交付されており、当市でもぜひ補助してくださるよう陳情する次第でございます。

昭和六十三年四月二十六日

陳情者

福生市熊川九五―三四七

ひまわり共同作業所

運営委員長

山崎正三 印

福生市加美平四―一

(三一三〇七)

ひまわり共同作業所長

境明作 印

福生市議会議長

村尾栄次 殿

陳情第六十三―八号

ジュネーヴ条約追加議定書の加入に関する陳情書

(陳情の趣旨)

わが国は講和に際して、戦争犠牲者保護に関するジュネーヴ四条約に加盟いたしました。これは戦禍に苦しんだ多くの国民の願望を表明したものであります。その後昭和五十二(一九七七)年に、この条約の不備を補うために追加議定書が制定されました。

わが国は、この制定会議に参加したものの、いまだに加入の手續きを取っておりません。この議定書は、特に一般市民、非戦闘員を戦災から守ろうとするもので、例えば緊急時における市民の危険区域からの予防退避や、無防備地区に対する攻撃の禁止、あるいは婦人、児童に対する特別の保護などを規定しております。

わが国は、平和憲法のもと、再び戦争に参加することは考えられませんが、しかしながら、あらゆる場合に備えてジュネーヴとその条約追加議定書を堅持し、戦禍の市民に及ばぬよう努力することは、原爆を体験した国民の悲願であると考えます。

(陳情項目)

国及び関係機関に対して、ジュネーヴ条約追加議定書の加入についての意見書を提出しただきたい。

昭和六十三年五月二十三日

陳情者

福生市本町一〇〇番地

全国抑留者補償協議会

尾 上 武 市 印

福生市議会議長

村 尾 栄 次 殿

写 福総庶発第三号

昭和六十三年四月一日

福生市長 田 村 匡 雄 印

福生市議会議長

村 尾 栄 次 殿

市議会議事説明員の委任について

昭和六十三年一月四日付け、福総庶発第二千七百二十八号で通知した市議会議事説明員のうち、同年四月一日付けによる人事異動に伴い、次のとおり委任したので通知します。

職 名 氏 名

福祉部長 石川 和 夫

市民部 森 田 雅 樹

環境防災課長